資料1

(1)ガイダンス

～葛飾区の事前復興の取組と フォローアップ訓練について～

①葛飾区の事前復興の取組

②震災復興まちづくりフォローアップ訓練とは

①葛飾区の事前復興の取組

◆震災復興まちづくり訓練とは

- 大地震で被災すると、住民も行政も目の前の応急対応に追われます。しかし、応急対応だけでなく、早い時期から地域と行政が力を合わせて復興への取り組みに着手することが重要です。
- 自分たちのまちで地震被害が発生した場合、その後の復興をどのように進めていくか、震災前から準備しておく「事前復興」が重要とされています。
- このために復興過程を疑似体験して、震災復興の手順や方針を話し合うなどして備えておくのが「震災復興まちづくり訓練」です。



ゆれによる被害の様子
（熊本県益城町）



液状化の様子（千葉県浦安市）
出典：一般財団法人消防防災科学ｾﾝﾀｰ

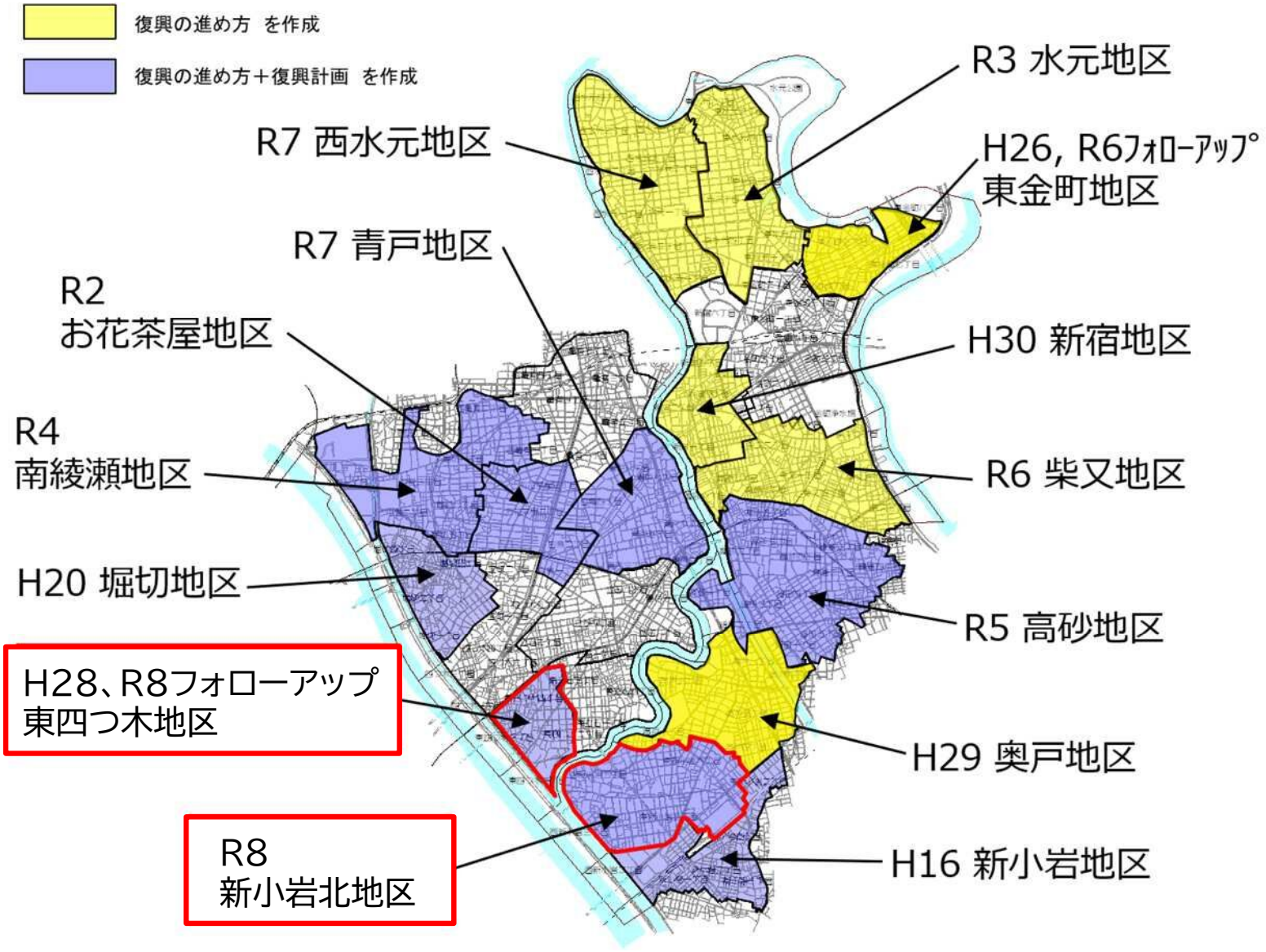


延焼火災の様子（神戸市長田区・須磨区）
出典：一般財団法人消防防災科学ｾﾝﾀｰ

①葛飾区の事前復興の取組

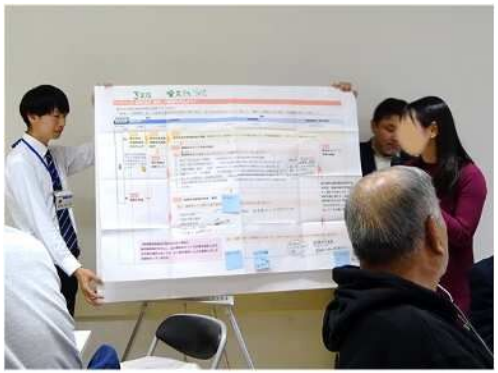
◆復興まちづくり訓練実施状況

13／19地区で実施済み









訓練状況
（Ｒ６柴又地区）

①葛飾区の事前復興の取組

◆葛飾区の事前復興対策の取組

平成　7年1月　　阪神・淡路大震災 発生

平成15年3月　　東京都震災復興マニュアル 策定

これを契機に、葛飾区においても
H16 新小岩地区復興まちづくり訓練
H20 堀切地区復興まちづくり訓練
を実施し、その訓練成果も踏まえた上で

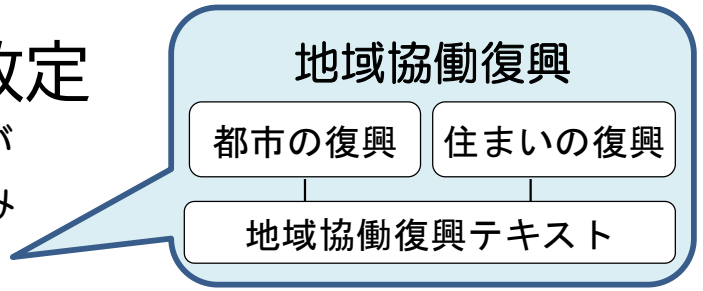
平成21年6月　　**葛飾区震災復興マニュアル 策定**

まちづくりに関する基本的な方針に復興まちづくりを位置づけ

平成23年7月　　葛飾区都市計画マスタープラン 改定

令和　3年3月　　葛飾区震災復興マニュアル 改定

⇒区民の復興の基本的プロセスや住民が自主的に復興に取り組むための仕組み等を紹介する地域協働復興編を追加

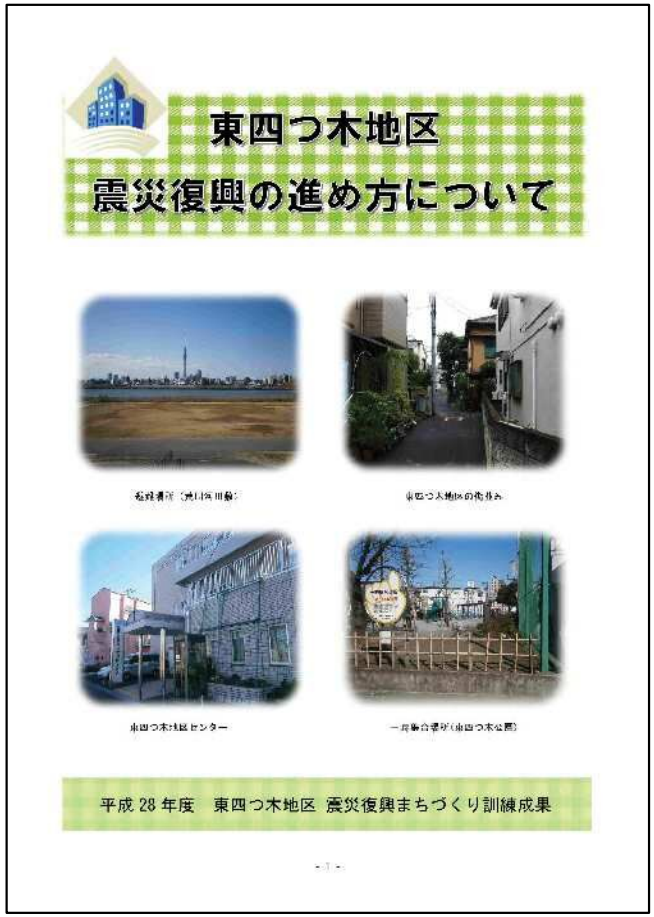


令和　5年12月　　葛飾区都市計画マスタープラン 改定

②震災復興まちづくりフォローアップ訓練とは

- 東四つ木地区では、10年前に地域のみなさんが参加して「震災復興まちづくり訓練」を行い、復興が必要になった場合の計画のポイントなどを「震災復興の進め方について」としてまとめました。

- このフォローアップ訓練では、今のまちの状況や、被害想定の変化などを踏まえ、改めて「どのように住まいを再建するのか」「どんなまちに復興していきたいか」を一緒に考え、「震災復興の進め方について」の改定を図ります。

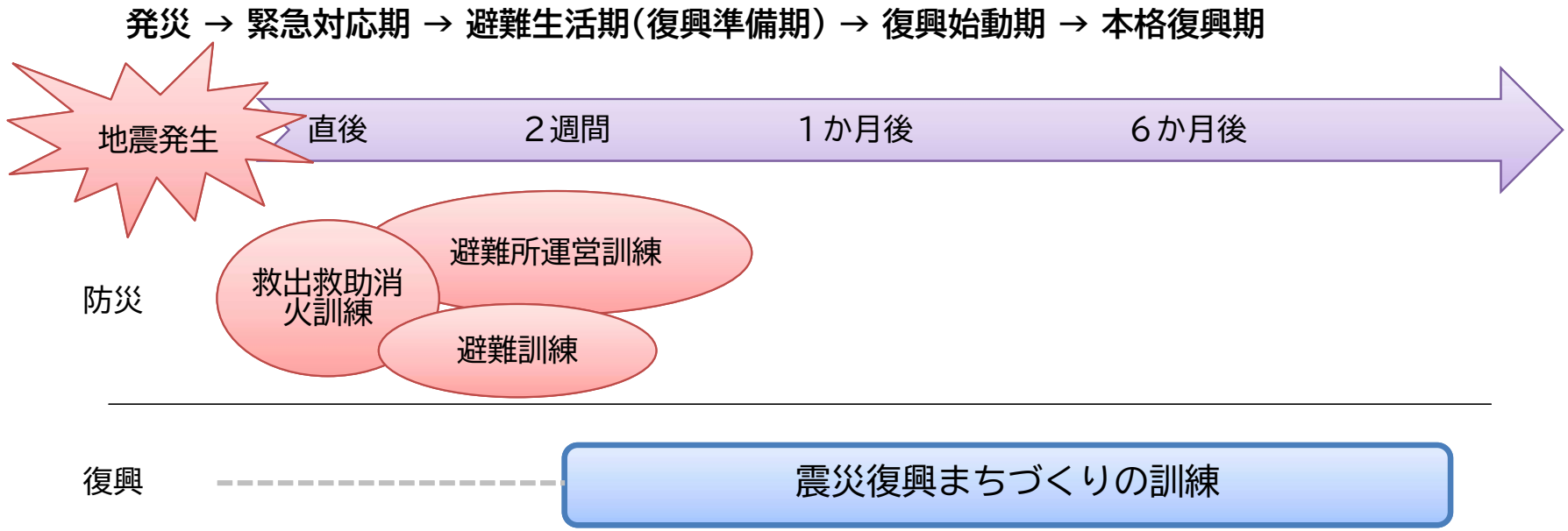


②震災復興まちづくりフォローアップ訓練とは

◆防災訓練と震災復興まちづくりワークショップ

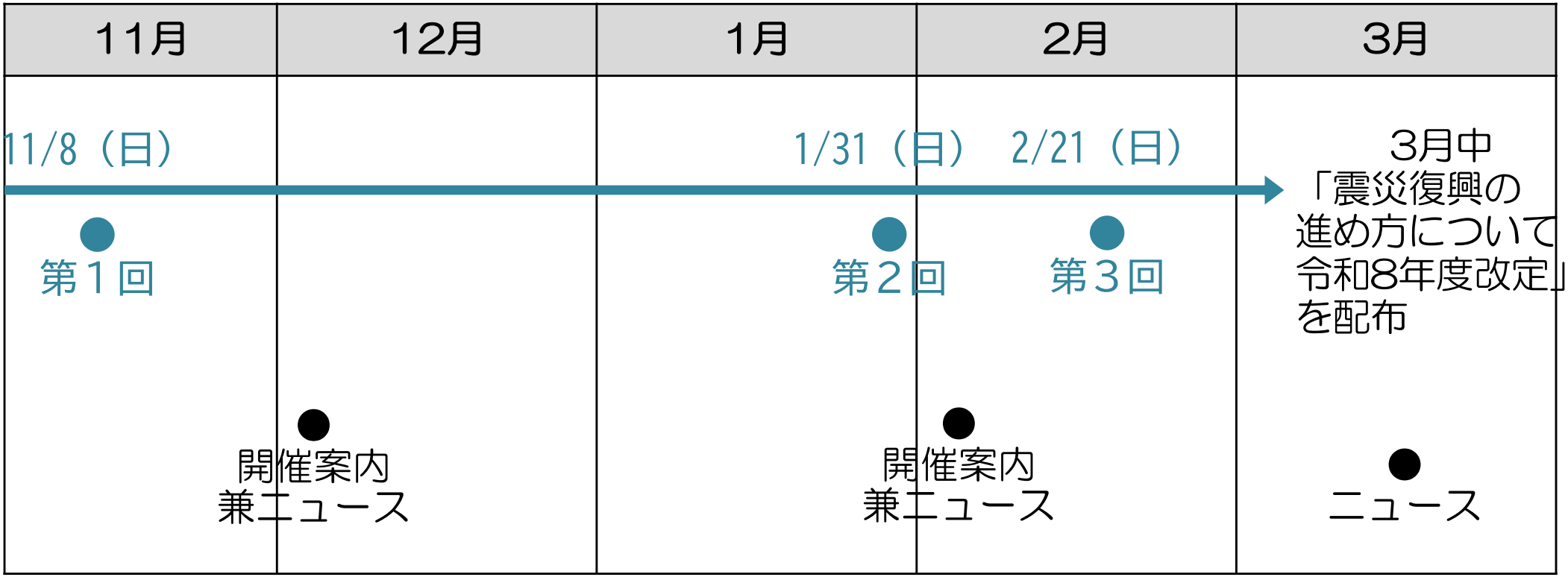
- さまざまな「防災訓練」では、災害直後から避難所生活までに必要な技術を習得します。一方、「震災復興まちづくり」の訓練は、避難所などの応急対策が一段落した後に生じる多様な課題をイメージし、それを解決する力を事前に養うことを目的とします。

★さまざまな防災訓練と震災復興まちづくりの訓練が想定する時期の違い



訓練のプログラム

- 時間：日曜9時半～12時
- 会場：東四つ木地区センター（第1・2回は3階ホール、第3回は2階大会議室）
- スケジュール（予定）



第１回　ガイダンス

～葛飾区の事前復興の取組と復興について学ぼう！～

- 東京都立大学の市古太郎教授に講演していただき、平成28年にまとめられた「東四つ木地区　震災復興の進め方について」を振り返りながら、被災後の復興や事前復興まちづくりの重要性、復興の進め方について学びます。

（１）ガイダンス　～葛飾区におけるフォローアップ訓練について～

（２）講演「回復力のあるコミュニティをつくる」　　東京都立大学　市古 太郎教授

（３）【ワーク】東四つ木地区はどんなまち？

（４）解説　　東京都立大学　中林 一樹名誉教授



第２回　被災後のまちと住まいの復興を考えよう！

- 訓練用の被害想定を踏まえ、東四つ木地区でどのような被害が起こり得るのか想像します。
- 被災後の住まいと生活の再建、まちの復興に必要なことを考え、「震災復興の進め方」を見直すポイントや内容を考えます。

（１）被災前のくらしをいち早く取り戻すために

（２）【ワーク】どんな被害が起こるのかイメージしてみよう！

（３）【ワーク】住まいと生活の再建、まちの復興を考えよう！

（４）解説　　東京都立大学　中林 一樹名誉教授



第３回　東四つ木地区の震災復興の進め方を改めて考えよう！

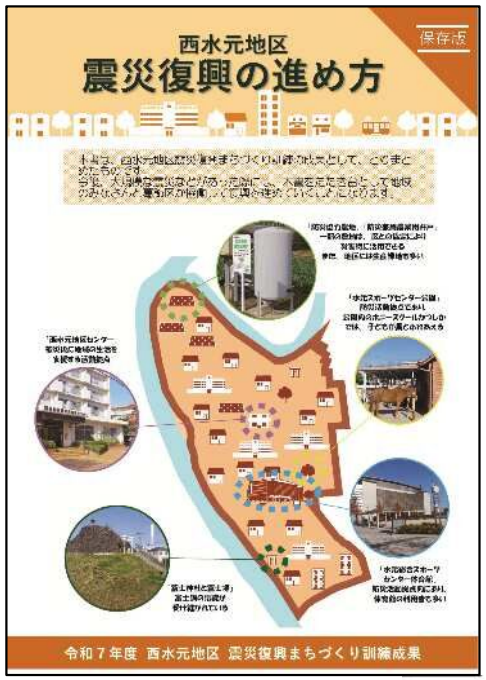
- 「東四つ木地区　震災復興の進め方について　令和8年度改定」(案)をもとに、その内容を確認し、普段からできることを検討します。

（１）【ワーク】「東四つ木地区　震災復興の進め方　令和8年度改定」（案）について

（２）【ワーク】普段から地域でできることを考えよう！

（３）解説　　東京都立大学　中林 一樹名誉教授





他地区の例